

《基礎教育科目 基礎教育科目 選択必修》

| | | | | | |
|----------------------------|----------------------|----------------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 音楽の世界 | | | | |
| 担当者氏名 | 荒瀬 紘子 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位 卒業の必修・選択 | 2・選択必修 | 開講年次・開講期 | 1年・前期 |
| 科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | (保) - 保育の内容・方法に関する科目 | | | | |

《授業の概要》

音楽は、人間の心に寄り添ってくれるものです。時代や環境などによって常に変化してきた歴史や楽器について、西洋音楽史を中心に幅広い知識を身につけ、これからの演奏表現に向けて、より豊かな感性を培うことを目指します。また、音楽表現のためには、演奏・創造・鑑賞の全ての要素が必要です。まず、楽譜を正しく読み解くために、基本的な楽典について概説します。最終的には、音楽の三要素である旋律・和声・拍子を体感しながら、独自で伴奏付けを行う実践力を養います。曲の雰囲気を読み取り、状況に合わせて自在に伴奏付けが出来る力を習得し、音楽活動を重視する幼児教育の現場での活用を目指します。

《授業の到達目標》

1. 音楽史や世界の様々な音楽、楽器について多岐にわたる音楽教養を身につけ、普段の音楽学習をより興味深いものにすることができる。
2. 楽典（音符、拍子、音階、音楽記号、和音など）が理解できる。
3. 簡単な伴奏付けができる。
4. 豊かな感性を持って、楽しんで音楽表現ができる。

《成績評価の方法》

平常点(受講態度など) 20%、課題・発表40%、小テスト40%

《参考図書》

資料は適宜配付します。

《教科書》

『子どものための音楽表現技術 感性と実践力豊かな保育者へ』今泉明美、有村さやか編著（萌文書林）

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：E02
 担当形態：単独
 幼稚園教諭：・
 保育士：選択必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】 |
|----|-----------------|--|
| 1 | オリエンテーション | 授業内容の確認、楽譜のしくみ 西洋音楽史の概説/教科書を一通り読み、内容を確認しておく【20分】 |
| 2 | 楽典 1 | 楽譜の変遷 西洋音楽史 / 楽譜に記載されている記号や音符などをよく確認しておく【20分】 |
| 3 | 楽典 2 | 音名 西洋音楽史 / 変化記号を含む音名を、鍵盤の位置と一致させて理解する【20分】 |
| 4 | 楽典 3 | 小節、音符と休符 西洋音楽史 / 記号の理解を深めておく【20分】 |
| 5 | 楽典 4 | 音符と休符、拍子とリズム 西洋音楽史 / 記号の理解を深めておく【20分】 |
| 6 | 楽典 5 | 音程 西洋音楽史 / 講義で学んだ音程について整理しておく【20分】 |
| 7 | 楽典 6 | 音階とト長調などの 系長音階(遠隔授業) 様々な楽器 / 五度ずつ移行する調号表の理解(側)と長音階の確認をしておく【30分】 |
| 8 | 楽典 7 | 音階とヘ長調など 系音階(遠隔授業) 様々な楽器 / 五度ずつ移行する調号表の理解(側)を確認しておく【30分】 |
| 9 | 和音 1 | 和音とコードネーム 西洋音楽史 / TDSの基本を学び三つの和音の種類を確認しておく【20分】 |
| 10 | 和音 2 | 演奏記号 西洋音楽史 // 八長調の童謡を自然に演奏できるように記譜・練習をする【20分】 |
| 11 | 和音 3 | 和音の基礎知識 / ト長調の童謡を自然に演奏できるように記譜・練習をする【20分】 |
| 12 | 和音 4 | 和音の基礎知識 / ヘ長調の童謡を自然に演奏できるように記譜・練習をする【20分】 |
| 13 | 楽典のまとめ | 小テスト/これまで学んだ内容を全て見直し、重要な箇所をまとめておく【20分】 |
| 14 | 第1回課題研究による授業保障回 | 【課題研究】西洋音楽史における作曲家を一人選び調べ、発表する【90分】 |
| 15 | 第2回課題研究による授業保障回 | 【課題研究】音楽に関わるアーティスト(ジャンル不問)を一人選び調べ、発表する【90分】 |